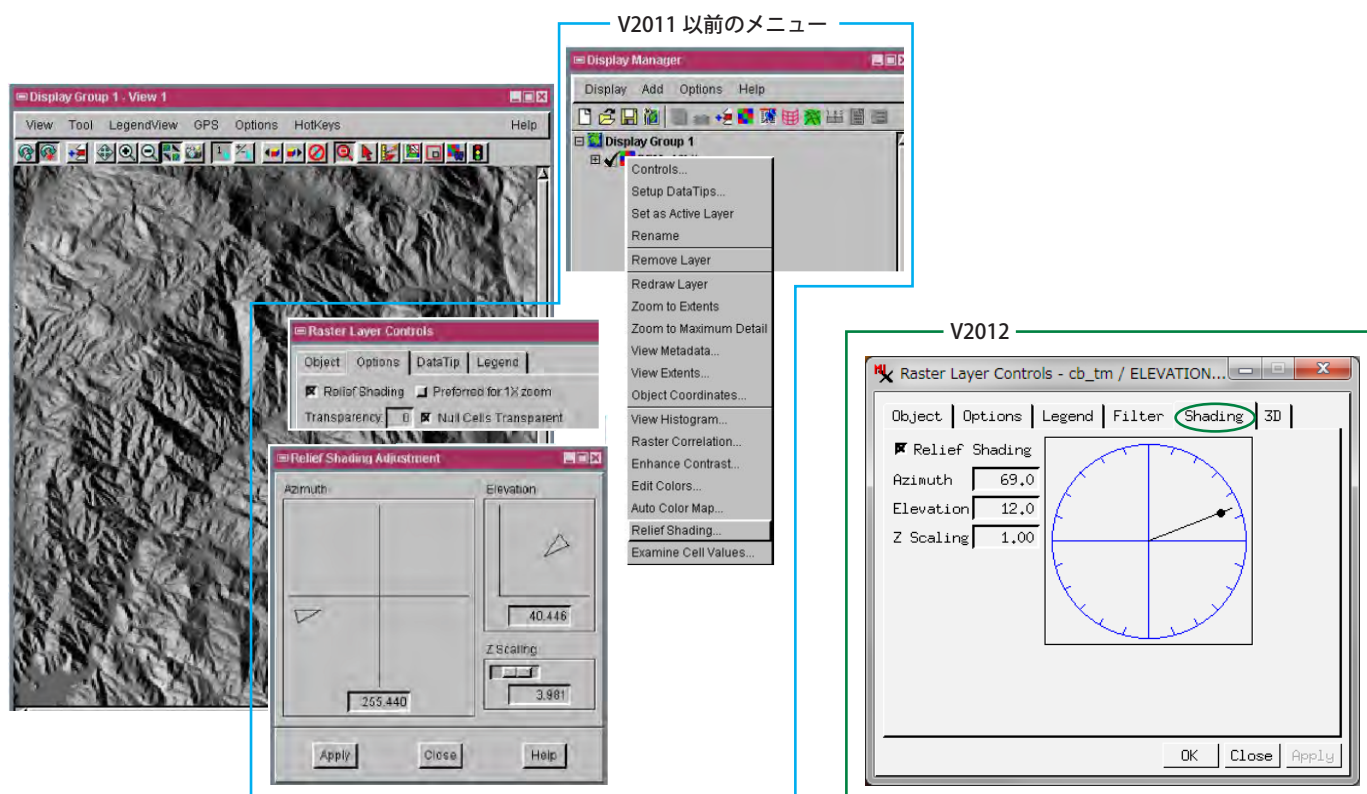


起伏陰影図の作成

ご存知でしたか?... 標高モデルやその他の地表面ラスタを任意の角度から照らして起伏陰影図として表示できます。

起伏陰影図によって...

- 表面の形状について、見慣れた形で強調表示できます。
- 水系のパターンや地質学的特徴、その他の地物を強調して表示できます。
- 照射角を変えることによって、特定の方向の構造を強調できます。
- 縦方向のスケールを誇張して起伏を表示できます。



起伏陰影図の表示方法

- 表示グループまたはレイアウトに地表面として使うラスタレイヤを追加します。
- 右マウスボタンメニューから [陰影図 (レリーフシェーディング)] (Relief Shading) を選択します (V2012 では、〈ラスタレイヤコントロール〉ウィンドウの [陰影処理] タブの [陰影図 (レリーフシェーディング)] トグルをオンにします)。
- 〈レリーフシェーディング調整 (Relief Shading Adjustment)〉ウィンドウのグラフィックコントロールを使って、照射方向 (方位 (azimuth)) と太陽の仰角 (標高 (Elevation)) を調整します (V2012 では、〈ラスタレイヤコントロール〉ウィンドウで [方位]、[標高] を調整します)。
- スライダーを使って [Z スケール (Z Scaling)] を調整します (V2012 では [Z スケール] に数値で入力します)。[適用 (Apply)] を押して設定を表示に適用します。
- 次回表示する際、これらの [陰影図 (レリーフシェーディング)] の設定を自動でこのラスタに適用するには、〈ラスタレイヤコントロール〉ウィンドウを開いて、[オプション (Options)] パネルの [陰影図 (レリーフシェーディング)] トグルボタンをオンにします。

さらに知りたいことがあれば...

マイクロイメージのウェブサイト
関連情報をお探してください



(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp